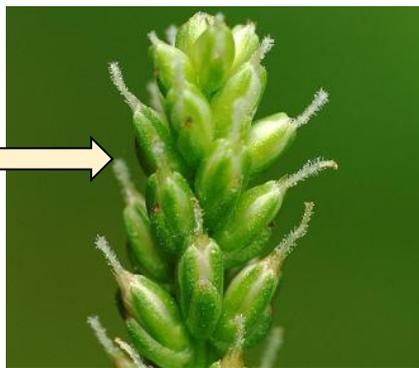
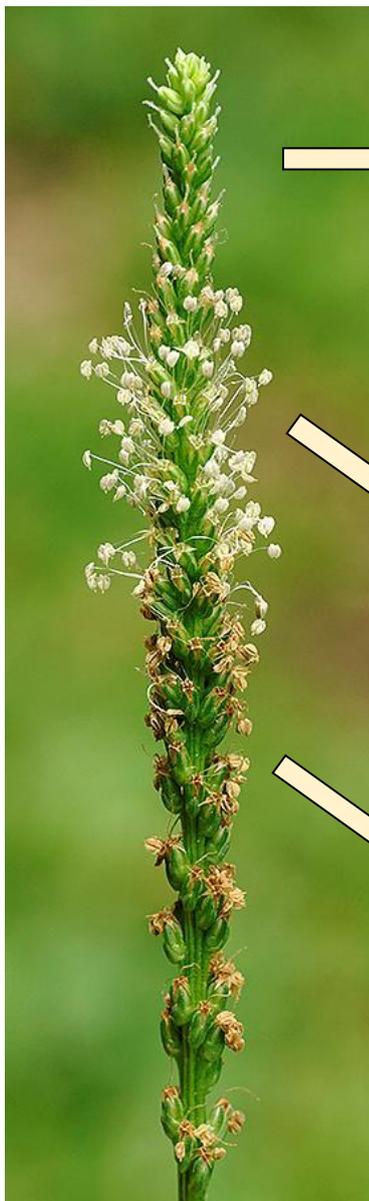


## ● オオバコの花の観察

農道にオオバコがたくさん見られます。今ちょうど花が咲いているところです。

わだちの間の部分、農道の真ん中ところにはオオバコがたくさん生えていますが、草藪の中にはほとんど見られません。生えている場所を見ると、他の植物にくらべて踏みつけに強いことがわかります。逆に、道の両側の踏みつけのないところでは、他の草に負けてしまうとも言えます。

花序（穂）を見ると長いものと短いものがあります。それぞれの花序は徐々に伸びているということです。



雌しべの伸びた花(雌しべ期)



雄しべの伸びた花(雄しべ期)



花が終わり果実になる

花序の上から下までの全体を見ると、部分的によろすが異なっています。

花序の上の方は雌しべだけが出ています。中央の部分は雄しべが伸びていて、雌しべは終わっています。その下は花が終わって果実になっています。

花序は上に伸びていくので、上の方は新しい花で、下の方が古い花です。下の花は初期のころに咲いて、今はもう果実になっているということです。

1個の花の動きとしては、  
**雌しべ期 ⇒ 雄しべ期 ⇒ 果実**  
という順序で成長します。両性花で、雌しべが先に出る“雌性先熟”の花であるということです。

このように雌しべと雄しべの時期がずれるのは、別の個体の花粉を受粉するためと考えられます。

(飯島和子)